

## 見積実例：道路補修工事

実績方式による

工事概要

工事工程表

主要機械工程表

概要図

特記仕様書

主要資材単価表

見積総括表

単価表

### 単価表の見方・使い方

- ここに掲載した単価は、モデル工事を施工するのに必要な単価である。土木工事は1件ごとに各種条件が異なり、相当の差額が生じる場合もあるので、利用に当たっては十分留意されたい。
- 単価の基礎は、関東一円の比較的大手建設業者の平均的な施工単価として参考にされたい。
- 内訳は、市場単価に見合う複合単価方式（下請経費を含む）としており、一位代価表は作成しない。この資料は、土木工事の積算合理化への足掛かりとして参考に供するものである。
- 主要材料の単価は、原則として「建設物価」最新号の八王子単価を採用したが、同誌に掲載のないものについては別途に調査して採用した。
- 数量は実際の施工数量とし、割増し率等については実情を勘案して、必要分を計上した。

## 道路補修工事

### 1. 工事概要

#### 1-1 工事総覧

工事名	道路修繕付帯及び交通安全施設工事		
工事場所	東京から西方50kmにある都市		
工期	140日		
発注者	国交省 関東地方整備局	国道事務所	
施工者	建設株式会社東京支店		
工事諸元	施工延長：1,000m		
	幅員12.7m：車道9.0m + 歩道1.85m × 2		
	施工延長の内		
	車道打換	：	333.3m
	車道オーバーレイ	：	666.7m
	及び歩道新設片側	：	150m

#### 1-2 工事内容

本工事は、延長1,000mのアスファルト舗装道路について、起点側666.7mの区間の車道部分のオーバーレイ及び、終点側333.3mの区間の車道部分の打換え、並びにその一部片側150mの歩道新設を施工するものである。(他の部分の歩道は既設)

#### 2. 主要施工数量

##### 2-1 道路土工

掘削運搬 t=250 3,000.0m<sup>2</sup>

##### 2-2 路盤工

粒度調整碎石路盤工 t=200 3,000.0m<sup>2</sup>

アスファルト

安定処理路盤工 t=150 3,000.0m<sup>2</sup>

粒度調整碎石路盤工 t= 60 171.5m<sup>2</sup>

##### 2-3 アスファルト舗装工

打換え部

基層工 t=100 3,000.0m<sup>2</sup>

表層工 t=50 3,000.0m<sup>2</sup>

オーバーレイ部

基層工 t=50 6,000.0m<sup>2</sup>

表層工 t=40 6,000.0m<sup>2</sup>

歩道部

表層工 t=40 171.5m<sup>2</sup>

##### 2-4 路面排水工

L型側溝工 150.0m

集水ます工 4.0箇所

##### 2-5 防護柵工

路側防護柵工(ガードパイプ) 140.0m

##### 2-6 道路付属施設工

区画線設置工

(中央破線・両側実線) 2,500.0m

縁石工(150/170\*200\*600) 149.1m

(縁石工A:11.5m、縁石工B:137.6m)

##### 2-7 構造物撤去工

舗装板取壊し 厚計 t=250 3,000.0m<sup>2</sup>

コンクリート舗装 t=200

アスファルト舗装 t= 50

### 3. 施工条件

3-1 地形は平坦で沿線に建物が多い準市街地である。

3-2 車道部分の打換え及びオーバーレイは夜間施工(20時～5時)で、片側ずつ施工し、歩道設置は昼間施工(8時～17時)とする。土曜日、日曜日、祝日は休日とする。

3-3 アスファルト舗装は、アスファルト混合物を購入して施工する。

3-4 打換えによる舗装取壊しの殻と残土は2km先の仮置場に運搬し、分別して仮置きするものとする。

3-5 工事基地(仮設建物用地)は、当現場から100m離れた民有地を借上げ使用する。

3-6 工事は、国土交通省土木工事共通仕様書に基づいて施工するものとする。

### 4. 工事の施工方法と手順

工事工程表と機械工程表の通りである。

これに基づく工事の施工方法と手順のあらましを述べる。

4-1 最初に借上げた工事用基地(24m×30m=720m<sup>2</sup>)を整地し、仮設建物、材料置場等を設置し、給排水設備、電力電灯設備、安全設備等の仮設工事及び、測量等の準備工事を行う。(1箇月目)

4-2 仮設工事終了後、直接工事に着手する。

1) 歩道設置工(昼間施工)

2箇月目より歩道設置に着手する。縁石工はクレーン装置付トラック(4t積 2t吊り)により設置し、その後集水枿を設置する。引続き車道部工事と並行してL型側溝工に

着手する。縁石工と同じクレーン装置付トラックにより、L型側溝を設置する。

次いで、粒度調整砕石路盤(厚6cm)を人力施工で行い、振動ローラ(2.7t)で締固める。プライムコート施工後、密粒度アスファルト混合物(厚4cm)を人力で舗設し、振動ローラ(2.7t)で締固める。

最後にガードパイプを設置して歩道設置工を終了する。

#### 4-3 車道打換え部(夜間施工)

夜間作業で、1回約150㎡(延長で片側33m)を1ブロックとして、土工・路盤工・舗装工の基層まで仕上げ、翌朝交通に開放する。

(2箇月目の下旬に着手する)

表層工は、全体の基層終了後、夜間作業で、1晩約500㎡(片側延長で110m)施工し翌朝交通開放しながら順次施工する。

##### 1) 土工(夜間施工)

既設のAs舗装、Co版を舗装版破碎機で取壊し、バックホウ(山積0.8m<sup>3</sup>)で掘削し、ダンプトラック(10t積)に積込んで、2km先の仮置場に運搬し、分別仮置する。

##### 2) 路盤工(夜間施工)

粒度調整砕石をブルドーザ(3t)で敷均し、タイヤローラ(8~20t)、マカダムローラ(10~12t)で締固める。その上にアスファルト安定処理混合物をアスファルトフィニッシャー(2.4m~4.5m)により舗設し、タイヤローラ(8~20t)、マカダムローラ(10~12t)で締固める。

##### 3) 舗装工(夜間施工)

基層(厚10cm)は、粗粒度アスファルト混合物をアスファルトフィニッシャーにより舗設し、路盤工と同じ、タイヤローラ、マカダムローラにより締固める。ここまでの作業を終えて一旦交通開放とする。

表層(厚5cm)は、基層上にタックコートを施工後、密粒度アスファルト混合物を、アスファルトフィニッシャーにより舗設し、タイヤローラ、マカダムローラにより締固め、終了後交通開放する。

#### 4-4 オーバレイ部(夜間施工)

3箇月目の下旬(打換え部基層終了後)にオーバレイ部の工事に着手する。1回当りの施工量は基層700㎡(片側延長150m)、表層990㎡(片側延長200m)で施工する。

なお表層は基層終了後に施工する。

##### 1) 基層工

タックコートの上に厚5cmの粗粒度アスファルト混合物をアスファルトフィニッシャーで舗設し、タイヤローラ、マカダムローラにより締固める。終了後交通に開放する。

##### 2) 表層工(夜間施工)

タックコートの上に厚4cmの密粒度アスファルト混合物をアスファルトフィニッシャーにて舗設し、タイヤローラ、マカダムローラにより締固める。これでオーバレイを終え交通開放とする。

#### 5. 区画線工(夜間施工)

舗装打換え工とオーバレイ工が終了したら幅15cmの区画線を設置する。

中央線(破線) L=500m

路側帯線(両側実線) L=2,000m

#### 6. 跡片付け・竣工

最後の15日間で、跡片付けおよび仮設建物等の撤去を行い工事の竣工となる。

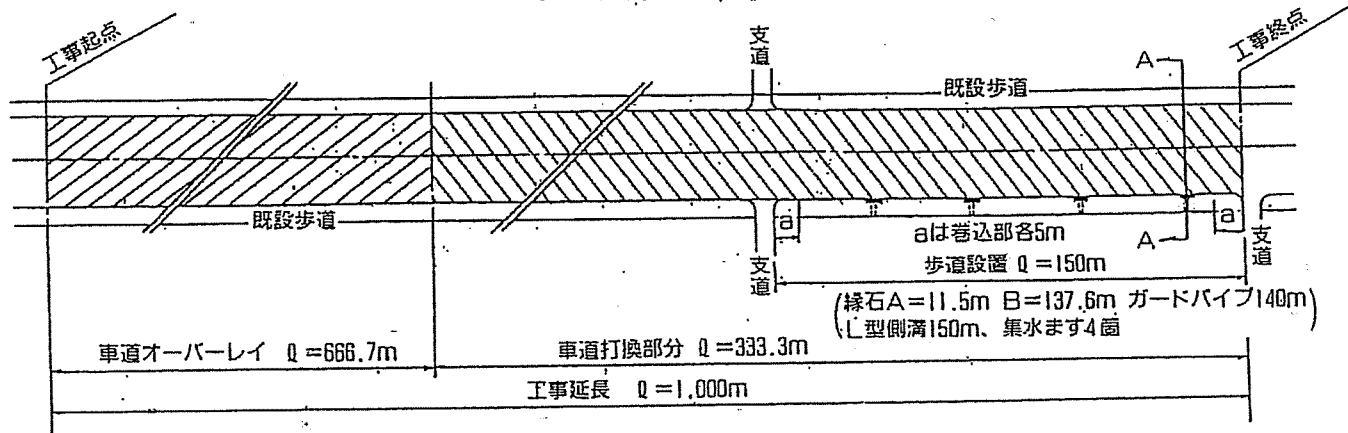
## 工事工程表

工 種	種 別	細 別	1	2	3	4	5
準備費		準備跡片付	■				■
土工				■ 打ち換え工事			
路盤工				■			
舗装工	打 換	部 基 層		■			
	"	表 層				■	
	オ ー バ ー レ イ	基 層				■	
	"	表 層					■
歩道設置	縁 石 工		■				
	アスファルト舗装工				■		
	防 護 柵					■	
	排 水 工	L 型 側 溝		■			
	"	集 水 ます	■				
雑 工	保 安 施 設	区 画 線 設 置					■

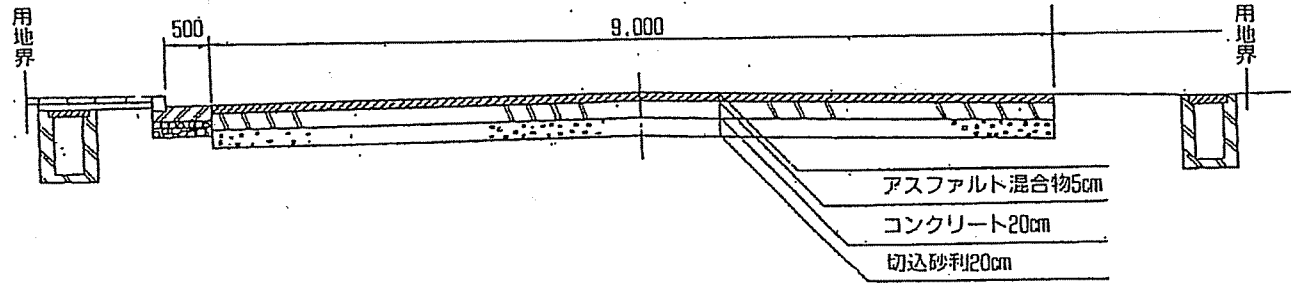
## 主要機械工程表

機 種	規 格	台 数	1	2	3	4	5
舗装版破碎機	はぎとり式 幅1.02m 厚0.4m	1		■			
バ ッ ク ホ ウ	山積 0.8m <sup>3</sup>	1		■			
ダ ンプ ト ラ ッ ク	10t	1		■			
ブ ル ド ー ザ	3t	1		■			
エ ン ジ ン ス プ レ ヤ	ドラム缶積載式 (200%)	1		■			
アスファルトフィニッシャ	2.4~4.5m	1		■			
タ イ ヤ ロ ー ラ	8~20t	1		■			
マ カ ダ ム ロ ー ラ	10~12t	1		■			
振 動 ロ ー ラ	2.7t	1			■		
クレーン装置付トラック	2t吊り	1	■				

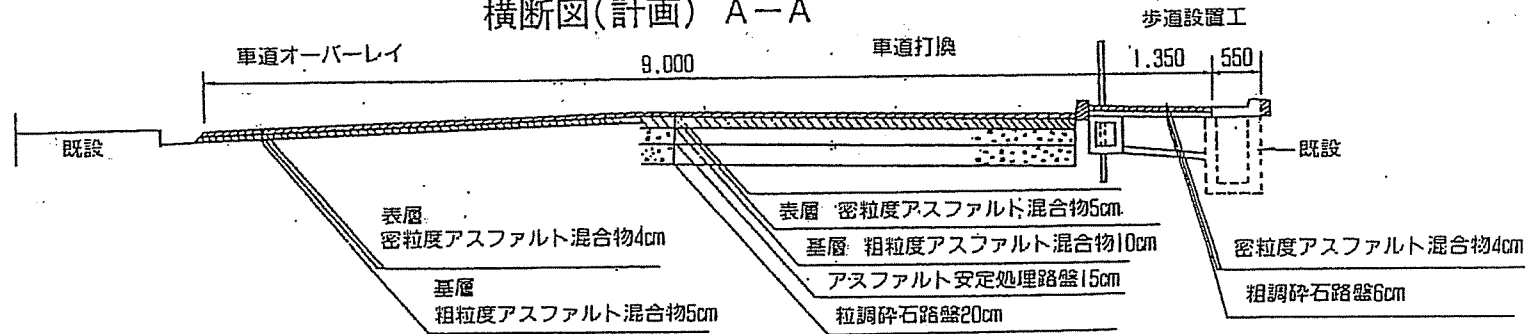
平面図(見取図)



横断面(現況) A-A



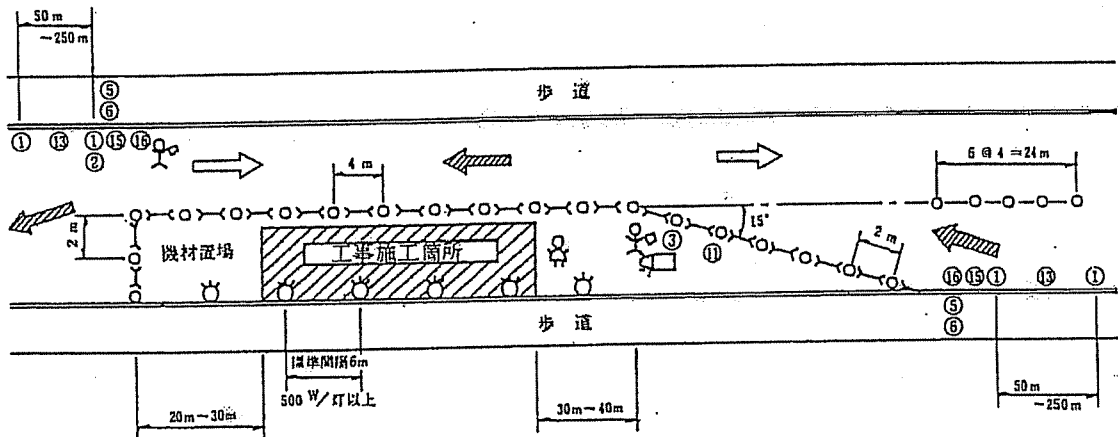
横断面(計画) A-A



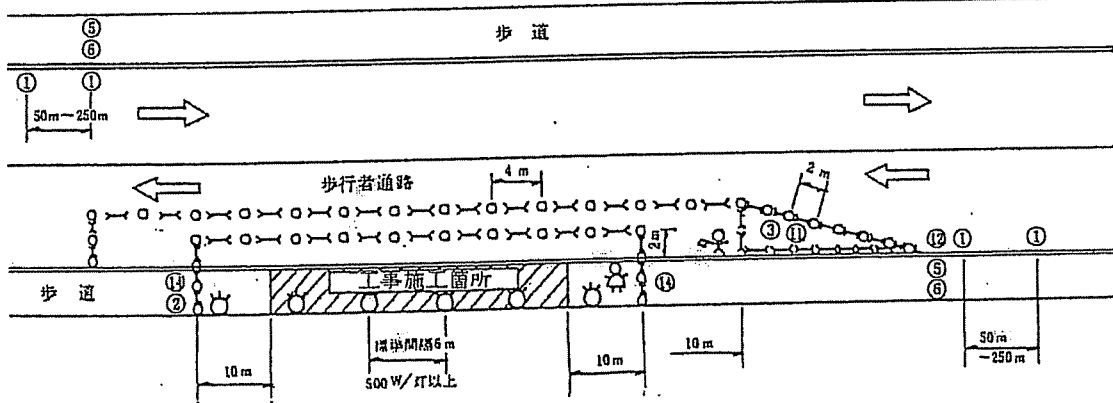
# 保安施設設置標準図

工事用照明灯	☼	規制標識	㊦	警戒標識	㊮
保安灯	⊙	規制標識	㊧		㊯
歩道柵	—	標示板(昼夜間道路工事中)	㊨	歩行者案内板	㊱
バリケード	⚡	標示板(御通行中の皆様へ)	㊩	停止線標識	㊲
カラーコーン	○	標示板(建設中)	㊪	番号機	㊳
標示板(工事予告)	㊫	標示板(工事中)	㊬	段差予告板	㊴
警戒標識	㊭	工事中(内部照明型)	㊯	段差標示板	㊵

## (1) 車道部打ち換え舗装 (夜間作業)

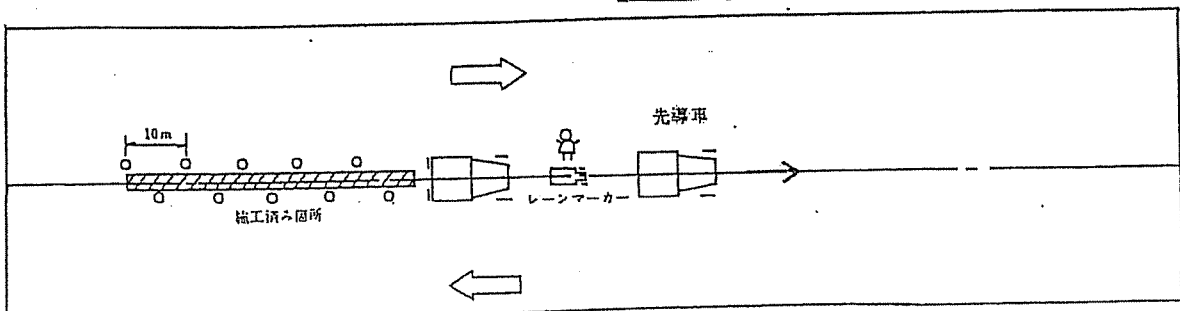
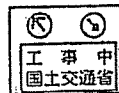


## (2) 歩道部 (昼間作業)



## (3) レーンマーク作業 (昼間作業)

㊫ 標識②③⑦⑩は作業車に張りつけることを原則とする。



# 道路修繕付帯及び交通安全施設工事

## 特記仕様書

### 第1章 総 則

- 第1条 適用  
この特記仕様書は土木工事共通仕様書でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。（以下省略）
- 第2条 現場代理人及び主任技術者等  
現場代理人及び主任技術者又は監理技術者は、請負者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。
- 第3条 施工計画書  
請負者は競争参加資格確認申請書（技術資料）に記述した施工計画に基づき施工計画書を作成し、施工しなければならない。
- 第4条 工事カルテの作成、登録  
請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成時に工事实績情報として「工事カルテ」を作成し監督職員の承認を受けたうえ、登録を行うものとする。（以下省略）
- 第5条 低入札価格調査制度調査対象工事について  
1. 予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合には、施工体制台帳を事務所に提出しなければならない。  
2. 第1項の書類の提出に際して、その内容のヒアリングを事務所長から求められたときは、請負者の支店長、営業所長等は応じなければならない。  
（以下省略）
- 第6条 現場技術員  
本工事は、現場における現場技術業務を（社） 建設弘済会に委託している。なお本工事を担当する現場技術員の氏名は下記のとおりである。  
現場技術員
- 第7条 現場の管理  
請負者は、監理技術者、主任技術者（協力業者も含む）及び元請の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場において、工事名、工期、顔写真氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。
- 第8条 施工体制の点検  
請負者は「公共工事の入札及び契約の適性化の促進に関する法律」第13条2により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。（以下省略）

第 9条 現場発生品  
現場発生品の量、引渡し場所、運搬距離等（以下省略）

第10条 建設副産物情報交換システムの活用について  
本工事は建設副産物情報交換システムの登録対象工事であり、請負者は、施工計画作成時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行うものとする。

第11条 建設副産物実態調査の提出について  
本工事は建設副産物実態調査（サンセス）の対象工事であり、監督職員から貸与された、建設副産物情報交換システムの「建設リサイクルデータ統合システム（CREDA S）」（以下「統合システム」という）により建設副産物の品目についてのデータを入力後、データが保存されたF D及び出力した調査表1部を監督職員に速やかに提出すること。（以下省略）

第12条 公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再資源活用工事実施要領について

1. 再生資材の活用

請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資 材 名	規 格	備 考
アスファルト安定処理		路盤工
再生アスファルト混合物	TOP20mm	基層工
再生クラッシャーラン	40～0	構造物基礎 仮設道路

なお、使用に際し「プラント再生舗装技術指針」等を遵守するものとする。

2. 指定副産物は下記の場所に搬出することとする。

コンクリート塊（無筋）

(1)受入場所：住所

(2)受入時間：8：00～17：00

(3)受入費用：800(円 / t)

(4)搬出調書：提出を義務付ける。

アスファルト塊（掘削材・切削材）

同上（省略）

3. 特定建設資材の分解解体等の再資源化等  
（省略）

第13条 施工管理

1. 本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。
2. 本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準によるものとする。
3. 工事写真の原本を電子媒体で提出する場合には、工事着手前に別紙-1に示す管理項目について、デジタル写真管理情報基準（案）に規定するデータ形式でF D等に保存し、監督職員に提出し確認を受けなければならない。

第14条 特殊車両通行許可関係の図書の提出  
省略

#### 第15条 工事中の安全確保

1. 工事の施工にあたっては、「道路工事保安施設設置基準」及び別紙「追加保安施設設置基準（案）」及び「追加安全施設設置基準（案）の運用」別紙-2に基づき適切な交通管理を行うものとする。ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議するものとする。
2. 工事期間中に配置する交通誘導員は以下の通り計上するものとする。ただし現場精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工 種	作業区分	延人数	備 考
構造物撤去工土砂掘削工	夜間作業	延べ 160人	交替要員あり
路盤工・アスファルト舗装工	夜間作業		交替要員あり
区画線工	夜間作業		交替要員あり
上記以外	昼間作業		交替要員あり

3. (以下省略)

#### 第16条 交通整理・誘導員の資格

配置する交通整理員・誘導員については資格者（警備業法第11条 2に規定する都・県公安委員会の行なう1級または2級検定に合格した者）1名以上を充て、他は経験1年以上の者とする。なおこれによりがたい場合は、監督職員と協議すること。

#### 第17条 工事現場管理

請負者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 積載制限を越えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
2. さし枠装着車、不表示車等に積み込まず、また積みこませないこと。
3. 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂の引渡しを受ける等過積載を助長することがないようにすること。
4. 取引関係にあるダンパー事業者が過積載を行ない、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
5. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
6. 以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

#### 第18条 交通規制日数の報告

現道上での工事で交通規制を実施した場合には、月ごとに実交通規制日数を監督職員へ提出する。

#### 第19条 建設機械の使用

1. 一般工事用排出ガス対策型建設機械の使用について  
本工事に使用する建設機械は、排出ガス対策型建設機械を原則とする。  
(以下省略)
2. 低騒音型建設機械の使用について  
本工事に使用する建設機械は、低騒音型建設機械を原則とする。  
(以下省略)

第20条 工事現場のイメージアップ

1. 工事現場のイメージアップを実施する。
2. イメージアップの内容については下記のとおりとする。
  - (1) 仮設備  
完成予想図の掲示及びフラワーポット等の設置
  - (2) 安全施設  
バリケード等のイメージアップを行う。

第21条 工期

工期は雨天、休日を含み契約の翌日から140日間とする。なお、休日には土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇を含む。

第22条 施工時間

昼間作業 8:00～17:00  
夜間作業 20:00～5:00

第23条 工事支障物件等

1. 工事着手前に支障物件（地上・地下）等を調査し監督職員に報告すること。  
なお、工事に支障のある場合には、監督職員と協議すること。
2. 以下省略

第24条 概算・概略数量

本工事は概略数量を示したものであり、詳細については、監督職員の指示によるものとする。

第25条 新技術活用の報告

本工事の施工においては、発注者の提供する「新技術情報提供システム（NETIS）」に掲載されている技術を使用した場合は別紙-3の様式により、監督職員に報告しなければならない。

第26条 工事における創意工夫実施等実施状況の請負者からの提出。

請負者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目または、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について工事完了後までに別紙-4の様式により提出することができる。

第27条 工事実施形態

1. 本工事は、「公共事業支援統合情報システム」（建設CALLS）の実証フィールド実験対象工事である。請負者は、工事施工に合わせて、公共事業支援統合情報システムの適応性、及び、対応策の調査に協力しなければならない。なお、内容については監督職員の指示によるものとする。

第28条 電子納品

1. 本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。  
ここでいう電子データとは「工事完成図書等の電子納品要領（案）」（以下「要領」という）に示された、ファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

2. 工事完成図書は、「要領」に基づいて作成したデータを電子媒体（CD-R）で2部提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品運用ガイドライン（案）」、「CAD製図基準に関するガイドライン（案）」を参考にするものとする。
3. 工事完成図書の提出の際は、電子納品・保管管理システムチェックシステムによるチェックを行ない、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施した上で提出するものとする。

## 第2章 材 料

### 第29条 舗装材料

加熱アスファルト混合物の骨材の最大粒径は、下記のとおりとしアスファルト量は配合設計により決定するものとする。

混合物の種類	最大粒径(mm)	摘 要
アスファルト混合物 密粒度	13	表層
再生アスファルト混合物 粗粒度	20	基層
再生アスファルト安定処理	40	路盤

### 第30条 生コンクリート

コンクリートはレディミクストコンクリートを原則とし、下記仕様によるものとする。

用途	粗骨材の最大寸法	スランプ	呼び強度 N/mm <sup>2</sup>	セメントの種類
路面排水工	25(20)mm	8±2.5cm	18	普通ポルトランド
縁石工	25(20)mm	8±2.5cm	18	普通ポルトランド

ただし、これによりがたい場合は、監督職員と協議するものとする。

### 第31条 区画線

幅及び厚さは、下記のとおりである。

幅(cm)	厚(mm)	摘 要
15	1.5	破線 溶融式(手動)、ペイント式(自動)
15	1.5	実線 溶融式(手動)、ペイント式(自動)

## 第3章 一 般 施 工

### 第32条 一般施工

1. 工事着手前に、工事区域内及びその周辺について状況調査を実施し、状況を十分に把握しておくこと。また、施工にあたり、既設構造物には十分に配慮し、実施するものとする。（以下省略）

## 第4章 そ の 他

### 第33条 完成図

1. 工事完成図については、「工事完成図書等の電子納品要領（案）」に従い作製するものとする。
2. 透明フィルムの枚数及び青焼き図面（下表参照）の部数は監督職員の指示によるものとする。

名 称	適 要
透 明 フ ィ ル ム	製本したもの
青 焼 き 製 本	青焼き製本し、着色したもの
青 焼 き 図 面	青焼きし、着色したもの

### 第34条 震災対策

1. 地震発生等の天災に備えてあらかじめその対応策を定めておくものとする。
2. 地震予知情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全措置を講ずるものとする。

### 第35条 道路施設基本データの作成

工事完成時には以下に示す「道路施設基本データ」を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、甲は乙に対して、「道路施設基本データ」の内容について、説明を求めることがある。

## 主要資材単価表

品名	規格	単位	単価 (円)	備考
粒度調整碎石	30~0	m <sup>3</sup>	2,750	建P111
再生As混合物	安定処理	t	9,300	建P180
再生As混合物	粗粒度20	t	9,600	建P180
As混合物	密粒度13	t	10,700	建P180
アスファルト乳剤	PK-3・PK-4	L	78	建P177
ガードパイプ	GP-CP-2E	m	9,910	土木コストP49
溶融式区画線	幅15cm 破線	m	294	土木コストP14 245×1.2(夜間割増)
溶融式区画線	幅15cm 実線	m	288	土木コストP14 240×1.2(夜間割増)

## 道路補修工事見積総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数量	単価	金 額	摘 要
直接工事費							67,820,000	
1.土工				式	1.0		2,970,000	
	1.1掘削工			式	1.0		2,970,000	
		土砂掘削	路床土掘削運搬	m <sup>2</sup>	3,000.0	990	2,970,000	
2.路盤工				式	1.0		17,742,540	
	2.1路盤工(A)			式	1.0		3,760,500	
		粒度調整砕石 路盤	仕上り厚20cm	m <sup>2</sup>	3,000.0	1,250	3,760,500	
	2.2路盤工(B)			式	1.0		13,848,260	
		アスファルト 安定処理路盤	仕上り厚15cm 2層仕上げ	m <sup>2</sup>	3,000.0	4,620	13,848,260	
	2.3路盤工(C)			式	1.0		133,780	
		粒度調整砕石 路盤	仕上り厚6cm	m <sup>2</sup>	171.5	780	133,780	
3.舗装工				式	1.0		35,681,130	
	3.1アスファルト舗装工(A)			式	1.0		15,984,300	
		基層	仕上り厚10cm 2層仕上げ	m <sup>2</sup>	3,000.0	3,370	10,114,040	
		表層	仕上り厚5cm	m <sup>2</sup>	3,000.0	1,960	5,870,260	
	3.2アスファルト舗装工(B)			式	1.0		19,362,139	
		基層	オーバーレイ部 平均厚 5cm	m <sup>2</sup>	6,000.0	1,700	10,194,520	
		表層	オーバーレイ部 平均厚 4cm	m <sup>2</sup>	6,000.0	1,530	9,167,619	
	3.3アスファルト舗装工(C)			式	1.0		334,691	
		表層	仕上り厚 4cm	m <sup>2</sup>	171.5	1,950	334,691	

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
4. 路面排水工				式	1.0		1,303,545	
	4.1側溝工			式	1.0		1,066,220	
		L型側溝	350型	m	150.0	7,110	1,066,220	
	4.2街渠柵工			式	1.0		237,325	
		集水柵		箇所	4.0	59,330	237,325	
5. 防護柵工				式	1.0		1,387,400	
	5.1防護柵工			式	1.0		1,387,400	
		ガードパイプ	GP-CP-2E	m	140.0	9,910	1,387,400	
6. 道路付属施設工				式	1.0		1,345,385	
	6.1区画線工			式	1.0		723,000	
		溶融式区画線		式	1.0		723,000	
	6.2縁石工			式	1.0		622,385	
		歩車道境界 ブロックA		m	11.5	8,190	94,215	
		歩車道境界 ブロックB		m	137.6	3,840	528,170	
7. 構造物撤去工				式	1.0		6,590,000	
	7.1構造物取壊し工			式	1.0		6,590,000	
		舗装取壊し	As5cm con20cm	m2	3,000.0	2,200	6,590,000	
8. 仮設工				式	1.0		800,000	
	8.1電力照明設備工			式	1.0		800,000	
		夜間照明設備		式	1.0		800,000	

工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
共通仮設費				式	1.0		18,330,000	
9.運搬費				式	1.0		3,945,600	
10.準備費				式	1.0		1,397,000	
11.安全費				式	1.0		3,314,770	
12.役務費				式	1.0		1,512,000	
13.技術管理費				式	1.0		1,815,000	
14.営繕費				式	1.0		6,345,630	
純工事費							86,150,000	
現場管理費				式	1.0			(以下別途)
工事原価								
一般管理費等				式	1.0			
工事価格								
消費税相当額			工事価格の5.0%	式	1.0			
工事費計								

## 道路補修工事 単価表

工事名 道路補修工事  
 工事場所 東京から西方50kmにある都市  
 工期 140日

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

### 1. 土 工

#### 1.1 掘削工

土砂掘削	路床土掘削運搬	m2	3,000.0	990	2,970,000	バックホウ0.8m3、10tダンプトラック
------	---------	----	---------	-----	-----------	-----------------------

**1. 土工 合計 2,970,000**

### 2. 路盤工

#### 2.1 路盤工(A)

粒度調整碎石路盤	仕上り厚20cm	m2	3,000.0	1,250	3,760,500	
	粒度調整碎石30~0	m3	762.0	2,750	2,095,500	
	敷均し工	m2	3,000.0	380	1,140,000	ブルドーザ3t
	転圧工	m2	3,000.0	175	525,000	タイヤローラ(8~20t)、マカダムローラ(10~12t)

**2.1路盤工(A) 計 3,760,500**

#### 2.2 路盤工(B)

アスファルト安定処理	仕上り厚15cm 2層仕上げ	m2	3,000.0	4,620	13,848,260	
	プライムコート工	m2	3,000.0	210	624,840	
	アスファルト乳剤	kg	3,780.0	78	294,840	
	乳剤散布工	m2	3,000.0	110	330,000	エンジンスプレヤ
	舗設工	m2	3,000.0	4,200	12,593,420	
	再生As安定処理混合物	t	1,131.5	9,300	10,522,950	
	フィニッシャ運転	m2	3,000.0	200	600,000	運転経費共
	舗設工	m2	3,000.0	470	1,410,000	
	雑材	式	1.0		60,470	
	転圧工	m2	3,000.0	210	630,000	タイヤローラ(8~20t)、マカダムローラ(10~12t)

**2.2路盤工(B) 計 13,848,260**

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
2.3 路盤工 (C)						
粒度調整碎石路盤	仕上り厚 6cm	m2	171.5	780	133,780	
	粒度調整碎石30~0	m3	13.1	2,750	36,025	
	敷均し工	m2	171.5	460	78,890	
	転圧工	m2	171.5	110	18,865	振動ローラ2.7t

2.3路盤工 (C) 計 133,780

2. 路盤工 合計 17,742,540

### 3. 舗装工

#### 3.1アスファルト舗装工 (A)

基 層	仕上り厚10cm 2層仕上げ	m2	3,000.0	3,370	10,114,040	
	舗設工	m2	3,000.0	3,160	9,484,040	
	再生As混合物 粗粒度20	t	763.4	9,600	7,328,640	
	フィニッシャ運転	m2	3,000.0	200	600,000	運転経費共
	舗設工	m2	3,000.0	500	1,500,000	
	雑材	式	1.0		55,400	
	転圧工	m2	3,000.0	210	630,000	タイヤローラ(8~20t)、マカダムローラ(10~12t)
表 層	仕上り厚5cm	m2	3,000.0	1,960	5,870,260	
	タックコート工	m2	3,000.0	89	265,620	
	アスファルト乳剤	L	1,290.0	78	100,620	
	乳剤散布工	m2	3,000.0	55	165,000	エンジンスプレヤ
	舗設工	m2	3,000.0	1,700	5,100,640	
	As混合物 密粒度13	t	377.2	10,700	4,036,040	
	フィニッシャ運転	m2	3,000.0	126	378,000	運転経費共
	舗設工	m2	3,000.0	220	660,000	
	雑材	式	1.0		26,600	
	転圧工	m2	3,000.0	168	504,000	タイヤローラ(8~20t)、マカダムローラ(10~12t)

3.1 アスファルト舗装工 (A) 計 15,984,300

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
3.2 アスファルト舗装工 ( B )						
基 層	オーバーレイ部 平均厚5cm	m2	6,000.0	1,700	10,194,520	
	タックコート工	m2	6,000.0	89	531,240	
	アスファルト乳剤	L	2,580.0	78	201,240	
	乳剤散布工	m2	6,000.0	55	330,000	エンジンスプレヤ
	舗設工	m2	6,000.0	1,490	8,967,280	
	再生As混合物 粗粒度20	t	754.4	9,600	7,242,240	
	フィニッシャ運転	m2	6,000.0	110	660,000	運転経費共
	舗設工	m2	6,000.0	170	1,020,000	
	雑材	式	1.0		45,040	
	転圧工	m2	6,000.0	116	696,000	
表 層	オーバーレイ部 平均厚4cm	m2	6,000.0	1,530	9,167,619	
	タックコート工	m2	6,000.0	89	531,240	
	アスファルト乳剤	L	2,580.0	78	201,240	
	乳剤散布工	m2	6,000.0	55	330,000	エンジンスプレヤ
	舗設工	m2	6,000.0	1,330	8,006,379	
	As混合物 密粒度13	t	603.5	10,700	6,457,450	
	フィニッシャ運転	m2	6,000.0	100	600,000	運転経費共
	舗設工	m2	6,000.0	150	900,000	
	雑材	式	1.0		48,929	直接工事費の端数調整
	転圧工	m2	6,000.0	105	630,000	

3.2 アスファルト舗装工 ( B ) 計 19,362,139

3.3アスファルト舗装工 ( C )

表 層	仕上り厚 4cm	m2	171.5	1,950	334,691	
	プライムコート工	m2	171.5	150	26,281	
	アスファルト乳剤	L	216.0	78	16,848	
	乳剤散布工	m2	171.5	55	9,433	エンジンスプレヤ
	舗設工	m2	171.5	1,700	291,260	
	As混合物 密粒度13	t	16.6	10,700	177,620	
	舗設工	m2	171.5	650	111,475	
	雑材	式	1.0		2,165	
	転圧工	m2	171.5	100	17,150	振動ローラ2.7t

3.3 アスファルト舗装工 ( C ) 計 334,691

3. アスファルト舗装工 合計 35,681,130

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

#### 4. 路面排水工

##### 4.1側溝工

L型側溝	350型	m	150.0	7,110	1,066,220	
	L型ブロック	枚	246.0	1,300	319,800	
	生コンクリート 18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	2.1	16,200	34,020	打設共
	型枠工	m <sup>2</sup>	30.0	5,200	156,000	材工共
	集水孔 縁塊共	枚	4.0	19,100	76,400	
	布設工	m	150.0	3,200	480,000	モルタル等共

4.1 側溝工 計 1,066,220

##### 4.2街渠柵工

集水柵		箇所	4.0	59,330	237,325	
	掘削・床均し・残土処理	m <sup>3</sup>	4.8	13,700	65,760	
	RC40-0	m <sup>3</sup>	0.4	7,500	3,000	敷均し共
	生コンクリート 18N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.2	16,200	19,440	打設共
	型枠工	m <sup>2</sup>	18.0	5,200	93,600	材工共
	コンクリート管 200 L=1000	本	4.0	2,850	11,400	
	コンクリートブロック	本	4.0	1,290	5,160	呑み口用
	柵ふた 460×400×60	枚	4.0	8,190	32,760	
	設置工	式	1.0		6,205	モルタル等共

4.2 街渠柵工 計 237,325

4. 路面排水工 合計 1,303,545

#### 5. 防護柵工

##### 5.1防護柵工

ガードパイプ	GP-CP-2E	m	140.0	9,910	1,387,400	
--------	----------	---	-------	-------	-----------	--

5. 防護柵工 合計 1,387,400

#### 6. 道路付属施設工

##### 6.1区画線工

溶融式区画線		式	1.0		723,000	
	幅15cm 破線	m	500.0	294	147,000	
	幅15cm 実線	m	2,000.0	288	576,000	

6.1 区画線工 計 723,000

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
6.2縁石工						
歩車道境界ブロック A	基礎有り150/170×200×600	m	11.5	8,190	94,215	プレキャストブロック
	掘削・床均し・残土処理	m3	2.3	13,700	31,510	
	RC40～0	m3	0.5	4,590	2,295	敷均し共
	生コンクリート 18N/mm2	m3	0.4	16,200	6,480	打設共
	型枠工	m2	3.5	3,450	12,075	材工共
	歩車道境界ブロック	個	20.0	730	14,600	曲線用共
	布設工	m	11.5	2,370	27,255	モルタル等共
歩車道境界ブロック B	基礎無し150/170×200×600	m	137.6	3,840	528,170	プレキャストブロック
	アスファルト取壊し・処理	m3	2.7	14,500	39,150	
	歩車道境界ブロック	個	230.0	810	186,300	
	布設工	m3	137.6	2,200	302,720	モルタル等共

6.2 縁石工 計 622,385

6. 道路付属施設工 合計 1,345,385

## 7. 構造物撤去工

### 7.1構造物取壊し工

舗装版取壊し	As5cm Co20cm	m2	3,000.0	2,200	6,590,000	
	舗装版破碎	m2	3,000.0	530	1,590,000	150㎡/回 はぎ取り式
	殻掘削・積込み・運搬	m2	3,000.0	1,300	3,900,000	バックホウ山積0.8m3、 10tダンプトラック L=2km
	舗装切込	m	1,000.0	1,100	1,100,000	

7. 構造物撤去工 合計 6,590,000

## 8. 仮設工

### 8.1電力設備工

電灯設備工	夜間照明設備工	式	1.0		800,000	
-------	---------	---	-----	--	---------	--

8. 仮設工 合計 800,000

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

## 9. 運搬費

機械運搬費		式	1.0		633,800	
	タイヤローラ運搬	往復	1.0		109,600	15tトレーラ(質量14.8t) 運転経費共
	マカダムローラ運搬	往復	1.0		79,800	11tトラック(質量9.3t) 運転経費共
	Asフィニッシャ運搬	往復	1.0		79,800	11tセミトレーラ(質量7.3t) 運転経費共
	振動ローラ運搬	往復	1.0		52,200	4tトラック(質量2.5t) 運転経費共
	舗装版破砕機運搬	往復	1.0		79,800	11tセミトレーラ 運転経費共
	バックホウ運搬 山積0.8m3	往復	1.0		125,600	20tセミトレーラ(質量19.8t) 運転経費共
	ブルドーザ運搬 3t	往復	1.0		52,200	4tトラック(質量3.5t) 運転経費共
	その他機器運搬	往復	6.0		54,800	6tトラック 運転経費共
日々回送費		式	1.0		3,311,800	
打換工(基層まで)	バックホウ、タイヤローラ運搬	日	20.0	62,800	1,256,000	20tセミトレーラ(質量19.8t) 運転経費共
打換工(基層まで)	Asフィニッシャ、マカダムローラ、舗装版破砕機、ブルドーザ運搬	日	20.0	39,900	798,000	11tセミトレーラ(質量7.3t) 運転経費共
打換工(表層)、オーバーレイ工(表層)	Asフィニッシャ、マカダムローラ、タイヤローラ運搬	日	22.0	54,800	1,205,600	15tトレーラ(質量14.8t) 運転経費共
歩道	振動ローラ運搬	日	2.0	26,100	52,200	4tトラック(質量3.5t) 運転経費共

9. 運搬費 合計 3,945,600

## 10. 準備費

準備・跡片付け	仮設建物敷地整地及び跡片付	式	1.0		400,000	
測量費		式	1.0		997,000	
	測量器材費	式	1.0		325,000	
	測量手元	式	1.0		672,000	

10. 準備費 合計 1,397,000

## 11. 安全費

各種標識・施設		式	1.0		900,000	
	各種標識版	式	1.0		200,000	
	バリケード セフティコーン	式	1.0		400,000	
	点滅灯	式	1.0		300,000	
交通誘導員		式	1.0		2,414,770	

11. 安全費 合計 3,314,770

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

## 12. 役務費

役 務 費		式	1.0		1,512,000	
地代	機械置場借地費	m2/月	2,520.0	600	1,512,000	720m2×3.5ヶ月

12. 役 務 費 合計 1,512,000

## 13. 技術管理費

技術管理費		式	1.0		1,815,000	
	品質管理費	式	1.0		1,000,000	
	出来形管理費	式	1.0		200,000	
	工程管理費	式	1.0		75,000	
	工事写真費	式	1.0		320,000	
	竣工図書作成・その他	式	1.0		220,000	

13. 技術管理費 合計 1,815,000

## 14. 営繕費

現場事務所	ユニットハウス2.25m×7.35m	棟	1.0	227,500	227,500	
	ユニットハウス損料	棟/日	135.0	560	75,600	1棟×4.5箇月×30
	ユニットハウス修理費	棟	1.0	18,700	18,700	
	ユニットハウス運搬費	回	2.0	50,000	100,000	
	ユニットハウス組立解体	棟	1.0	33,200	33,200	
プレハブトイレ		式	1.0		192,700	
	プレハブトイレ損料	棟/月	9.0	3,900	35,100	2.0棟×4.5箇月
	プレハブトイレ組立解体	棟	2.0	28,800	57,600	
	プレハブトイレ運搬費	回	2.0	50,000	100,000	
倉庫試験室	ユニットハウス2.25m×7.35m	棟	1.0	227,500	227,500	
作業員休憩所	ユニットハウス2.25m×7.35m	棟	2.0	227,500	455,000	
仮設建物給排水設備		式	1.0		320,000	
仮設建物電力設備	幹線設備	式	1.0		400,000	
仮囲い工		m	108.0	14,000	1,512,000	イメージアップを含む
作業員輸送費	マイクロバス 29人乗り	台/月	5.0	212,000	1,060,000	1台×3箇月+1台×2箇月
地代	仮設建物借地費	m2/月	3,240.0	600	1,944,000	720m <sup>2</sup> ×4.5箇月
諸雑費	純工事費の端数調整	式	1.0		6,930	

14. 営繕費 合計 6,345,630

直接工事費 計 67,820,000  
 共通仮設費 計 18,330,000  
 純工事費 86,150,000